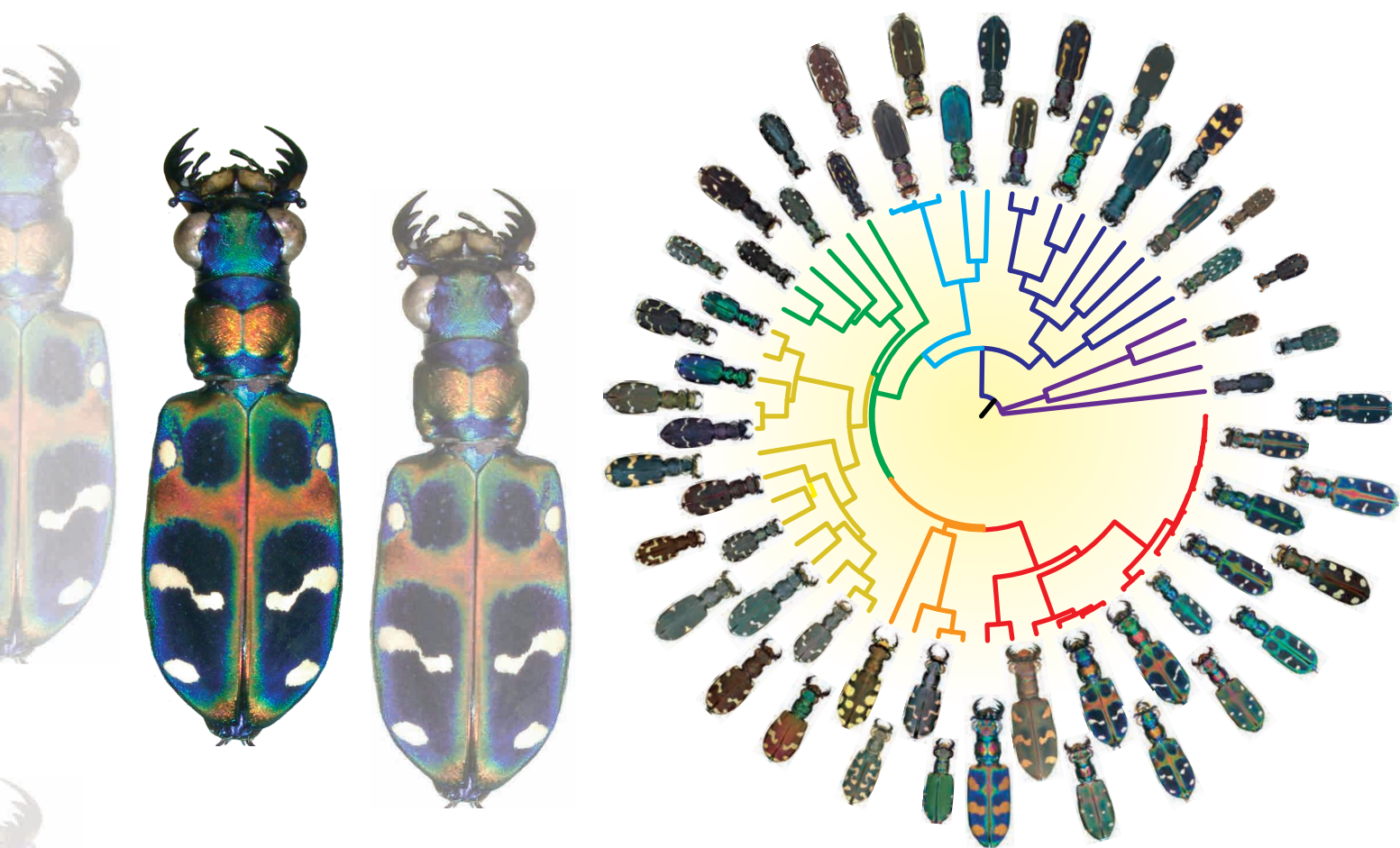


日本進化学会

第 19 回大会 *in* 京都

なぜ多くの生物種が存在するのか？

—種多様性をうみだす進化・生態過程をさぐる—



プログラム・講演要旨集

2017 年 8 月 24 日 (木)~26 日 (土)

京都大学吉田キャンパス (吉田南構内講義棟・本部構内百周年時計台記念館)

シンポジウム S9：生命誕生の謎に迫る実験科学～多様性の起源はどこだ？～	
日時・会場	8月25日 13:00 ～ 15:00 Room A（吉田南講義棟・共北25講義室）
企画者	市橋伯一（大阪大学）
使用言語	日本語
企画概要 生命の誕生は謎に満ちている。どうやって誕生したのか？いつ進化する能力を獲得したのか？膜構造は？20アミノ酸は？利己的な複製体をどうやって克服したのか？などわからないことばかりである。これらの謎を実験的に解き明かす試みは、近年、再構成システムやマイクロタスと融合し新しい展開を見せている。本シンポジウムでは、若手からベテランまで当該分野で活躍中の実験科学者を集め、生命の起源研究の最新状況と生命多様性へと至る起源について議論したい。	
講演時間	演題
13:00 ～ 13:20	原始生命システムにいかにして多様性が生まれうるのか？ 人工RNA自己複製系を使って解明する ○市橋伯一 大阪大学
13:20 ～ 13:40	ドロップ・マイクロフルイディクスによるRNA実験進化：区画化による多様性の創発 ○松村茂祥 富山大・院理工
13:40 ～ 14:00	Antibiotic cyclingによる抗生物質耐性菌の抑制と数理モデル予測による耐性制御 ○津田宗一郎 グラスゴー大学
14:00 ～ 14:20	化学的人工細胞モデルで探る生命起源 ○栗原顕輔 ¹ 、松尾宗征 ² ¹ 自然科学研究機構・岡崎統合バイオサイエンスセンター・分子科学研究所、 ² 東京大学大学院総合文化研究科
14:20 ～ 14:40	試験管内RNAワールドからペプチドの多様な機能を探る ○根本直人 ¹ 、熊地重文 ² ¹ 埼玉大学大学院・理工学研究科、 ² Epsilon Molecular Engineering
14:40 ～ 15:00	自律的に増殖するミニマルセルの構築 ○車兪澈 東京工業大学・地球生命研究所